

As New Necessities Of Life “FOUR”
仕事と暮らし。デザインと機能性。
さまざまバランスを意識し生まれた“衣食住”と“働く”を繋ぐデスク
Jin Kuramoto × CondeHouse × ACTUS
「FOUR」デスク 2023年9月30日(土)より発売開始



株式会社カンディハウス（北海道旭川市／代表取締役社長 染谷哲義）と株式会社アクタス（東京都新宿区／代表取締役社長 村田謙）の協業で、デザイナーに倉本仁氏を迎え、2022年に発表いたしました美しさと機能性の融合点を見出した「FOUR（フォー）」のマルチタスクチェアに続き、この度チェアの開発意図と意匠を継承し、住環境に溶け込む佇まいと機能性をもったワーキングデスクを2023年9月30日（土）よりカンディハウスならびにアクタスの販売網を通じて販売開始いたします。

製品名：FOUR デスク

サイズ：巾1200/1400/1600 奥565 高720（740）mm ※（ ）内はご注文時に高さが選べます。

価格：巾1200mm 280,500円 / 巾1400mm 297,000円 / 巾1600mm 313,500円 ※表示価格は税込です。

販売：カンディハウスならびにアクタスの販売網を通じて2023年9月30日より発売

※カンディハウスでは東京・名古屋・大阪・旭川・道央ショップにて10月中旬より随時展示展開となります。

FOUR デスクの開発コンセプトと背景

在宅ワークが定着する昨今、衣食住が主だった住まいの環境に「働く」という新しい場所が加わりました。その中で使う椅子の重要性からFOURチェアが生まれたように、同じく仕事と向き合うスペースを構成するデスクについても「サイズや収納力など機能面だけでも叶えたい要件が人によりさまざまなこと」「デスク上に書類などが散在することで“家に仕事が存在する”というノイズを生むこと」「機能の充実を重視したデスクはリビング・ダイニングなど寛ぎの空間の中に違和感を生む存在になりがちなこと」という課題がありました。

そこで、私たちはこれらの課題を解決できるデスクデザインの議論をチェアの開発と並行して重ねてきました。結果導き出したのは、デスク上に広がった書類やガジェットを整理しリセットする収納を持ち、リビング・ダイニングにある他の家具との間で不協和音を生み出す重たい存在にならないデザイン。手に馴染み長くともに過ごしたい温もりのある素材を使うこととFOURチェアを受け止める美しさがあることも大切にしました。

そうして、浮遊感ある天板と垂直に交わる背板の直線的なラインに有機的な脚が融合したデザインで、木の表情を生かした美しい佇まいを持つFOURデスクが誕生しました。

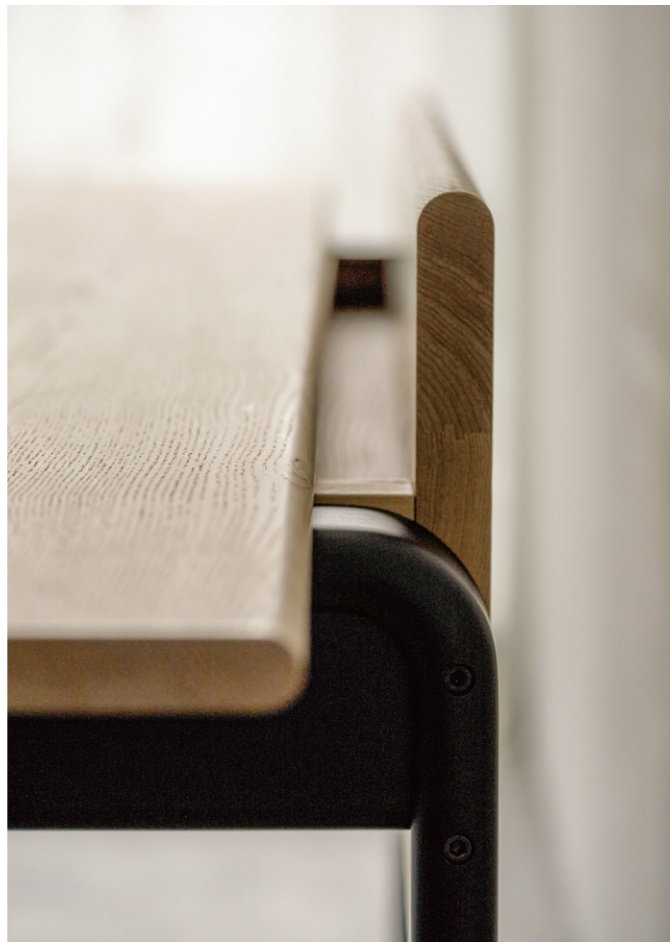


見た目の印象を超える使い勝手

できるだけデスクとしての存在感を消すよう、引き出しを付けずにあえて天板下をシェルフにし、さらに天板よりも奥まった配置にしています。

また、天板には手前に引き出すことができるスライド機能を採用。スライドした時、スペース上の使いやすさと豊かさが生まれ、背板前にある収納へのアクセスとリセット性を高めています。背板前の収納は、デスクトップ上のさまざまなガジェットをしまうだけでなく、タブレットや書類を立てかけるなどシンプルでコンパクトなデザインでありながら、収納力と機能性を持っています。

デスクを構成する素材は、天板には木目が美しい北海道産タモの無垢材、脚部にはなめらかな仕上がりの北海道産のカバ材を使用。テクスチャーの異なる素材、直線的なトップと有機的なレッグデザインの対比が、より軽快さと美しい違和感を醸し出します。



美しさと機能性の融合点を見出した美しく経年変化する椅子「FOUR」



2022年のデビュー以来、大変ご好評いただいている「FOUR」チェアは、コロナ禍以降での在宅ワークが定着する中、自宅で仕事用に使う椅子の重要性について、生活者の気づきが顕在化したことに端を発しています。オフィスで使うワークチェアやエグゼクティブチェアには機能性やデザインの優れたものが数多くありますが、在宅ワークの主な場所である家庭のリビングダイニングにさりげなく溶け込み、食事用としてもそのまま使える椅子はこれまでほとんど存在しませんでした。無垢の木材やアルミニウム、レザーといった美しく経年変化する素材からなる、美しくかつ機能的なこのFOURチェアの繊細な意匠の中には、開発を担当したカンディハウスとアクタス、デザイナーの倉本仁氏、そして技術監修のkokoroの四者の知見が結集しています。



デザイナー | 倉本 仁 KURAMOTO JIN

1999年金沢美術工芸大学工業デザイン専攻卒業。家電メーカーに工業デザイナーとして勤務した後、2008年に『JINKURAMOTO STUDIO』を設立。国内外さまざまな企業より家具、家電製品、アイウェアから自動車まで多彩なジャンルのデザイン開発とプロダクトを発表。

iF Design Award、グッドデザイン賞、Red Dot Design Awardなど受賞多数。

<https://www.jinkuramoto.com>

倉本 仁デザイン FOURシリーズ 製品概要



デスク 120 | 北海道タモ MBR



デスク 140 | 北海道タモ BL



デスク 160 | 北海道タモ WNF

【製品名】FOUR (フォー) デスク

【樹種・塗装】北海道タモ WNF/MBR/BL 3色展開 ※脚部は北海道カバBLです。

【サイズ】巾1200/1400/1600 奥565 高720(740) 天下700(720) 地板下635(655) 脚内985

※ () の数値はHタイプのサイズです。 天板無垢材 通線孔付き アジャスター付き

【価格】デスク120: ¥280,500 / デスク140: ¥297,000 / デスク160: ¥313,500 ※表示価格は税込です。



デスク160 チェアー | 北海道タモWNF BQ-BR チェアフレーム: C-SL



デスク140 チェアーGL | 北海道タモBL BQ-BL チェアフレーム: S-BL

【製品名】FOUR (フォー) チェア / チェア GL

【樹種・塗装】北海道タモ WNF/MBR/BL 3色展開

【フレーム】S-BL (サテンブラック仕上げ) / C-SL (クロームメッキシルバー仕上げ) 2色展開

【サイズ】チェア : 巾790 奥790 高780(870) 座高435(525) 肘高655(745)

チェアGL: 巾735 奥735 高740(830) 座高395(485) 肘高615(705)

※ () の数値は昇降機能による最高時のサイズです。 昇降機能・ロッキング機能付き

【張地】レザー 2色/専用ファブリック3色

【価格】S-BL: ファブリック ¥220,000 / レザー ¥242,000

C-SL: ファブリック ¥242,000 / レザー ¥264,000 ※表示価格は税込です。

【販売店】全国のカンディハウスショップ、エリアパートナーショップ、

アクタス直営店、公式オンラインショップ、アクタスディーラーショップ

当プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カンディハウス デザイン企画本部 江良・尾田

Tel: 0166-47-9967 Fax: 0166-49-2225 E-mail: kikaku@condehouse.co.jp